

2. プレキャスト製品の確認要領

〔1〕適用範囲

この基準は、岡山県土木部関係の行う工事に使用するプレキャスト（コンクリートブロックを除く）製品の製造についてその管理の基準を定めたもので、確認は、注文者（購入者）が行う。

なお、本確認要領による確認を実施したものについては、現場での出来形管理のうち、現場における施工延長以外の項目は、適用除外とする。

〔2〕総 則

(1) JIS製品

- ① JIS 製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することが出来る。
- ② 請負業者は落札後セメントコンクリート二次製品を選定し、日本産業規格（JIS）の認証書の写しと使用報告書（別冊様式集）を提出すること。
- ③ 現場においては、JIS マークを確認できるよう設置すること。

(2) JIS規格にない一部製品について

- ① 岡山県エココンクリート製品協同組合の製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することができる。
- ② 岡山県エココンクリート製品協同組合規格の鉄筋コンクリート側溝ふた、芝台ブロック、角フリューム、水路用L型、柵渠、大型フリューム、等厚側溝、簡易床板及びプレキャストπ型ブロック、張りブロックについては、組合認定書（別冊様式集）と使用報告書（別冊様式集）を提出すること。
- ③ 現場において組合認定マークを確認できるよう設置すること。

(3) JIS製品以外

① 施工前（承認）

使用（承諾）しようとする製品については、当該製品の製造前少なくとも、1ヶ月分の品質、出来形資料を求め〔3〕に定める基準に照らし、満足すれば、購入者が現地で行う品質及び出来形（形状寸法）確認を省略し、製造者が工場で行う管理資料の提出に換えることが出来る。

なお、当該製品の製造前1ヶ月分の資料の提出が困難な場合は、監督員と協議し、他の製品の管理記録に換えることが出来る。

- ② JIS 製品以外の製品で前記（2）②以外の製品を使用する場合は、請負者から工事箇所ごとに承認願（別冊様式集）を提出させ、上記の基準により審査すること。

③ 施工中

品質・出来形資料は、最終納入ブロックの製造月日まで1ヶ月毎とりまとめて提出させ、随時確認を行うものとする。

なお、外観確認は、製品納入の都度〔4〕により行うものとする。

〔3〕JIS 製品以外の確認基準

(1) 品質管理・出来形管理

- a. 材料の品質管理・出来形管理は、類似の JIS 製品の基準により行うものとする。
ただし、これによりがたい場合は、監督職員と協議の上決定するものとする。

〔4〕外観確認

使用上有害な傷、ひび割れ、欠け、反りなどがあってはならない。

様式-(1)

<p>測定期間</p> <p>自 年 月 日 至 年 月 日</p>	<p>(出来形質) 管理図表</p> <p>試料の大きさ又は間隔</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">主任監督員</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">監督員</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">製造者</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">測定者</td> </tr> </table>	主任監督員	監督員	製造者	測定者	
主任監督員	監督員						
製造者	測定者						
			<p style="text-align: center;">記事</p>				

主任監督員	監督員	監督員
-------	-----	-----

名称	工事名	測定自	年月日
品質特性	出張所名	期間至	年月日
測定単位	日標準量	請負者	
規格限界	試料	現場代理人	㊟
	大きさ	測定者	㊟
	間隔	製作者	㊟
設計基準値	作業機械名		

測点又は月日	試験番号	測定値					計	平均値	範囲 R				項目	\bar{x}	\bar{R}
		x_1	x_2	x_3	x_4	x_5			$\sum x$	\bar{x}	R_1	R_2			
	1														
	2														
	3														
	4												平均		
	5												個数		
													小計		
													累計		
	6														
	7														
	8														
	9												平均		
	10												個数		
													小計		
													累計		
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	16														
	17														
	18														
	19												平均		
	20												個数		
													小計		
													累計		

記事	n	d_2	d_3	A_2	D_3	D_4
	2	1.128	0.853	1.880	—	3.267
	3	1.693	0.888	1.023	—	2.575
	4	2.059	0.880	0.729	—	2.282
	5	2.326	0.864	0.577	—	2.115

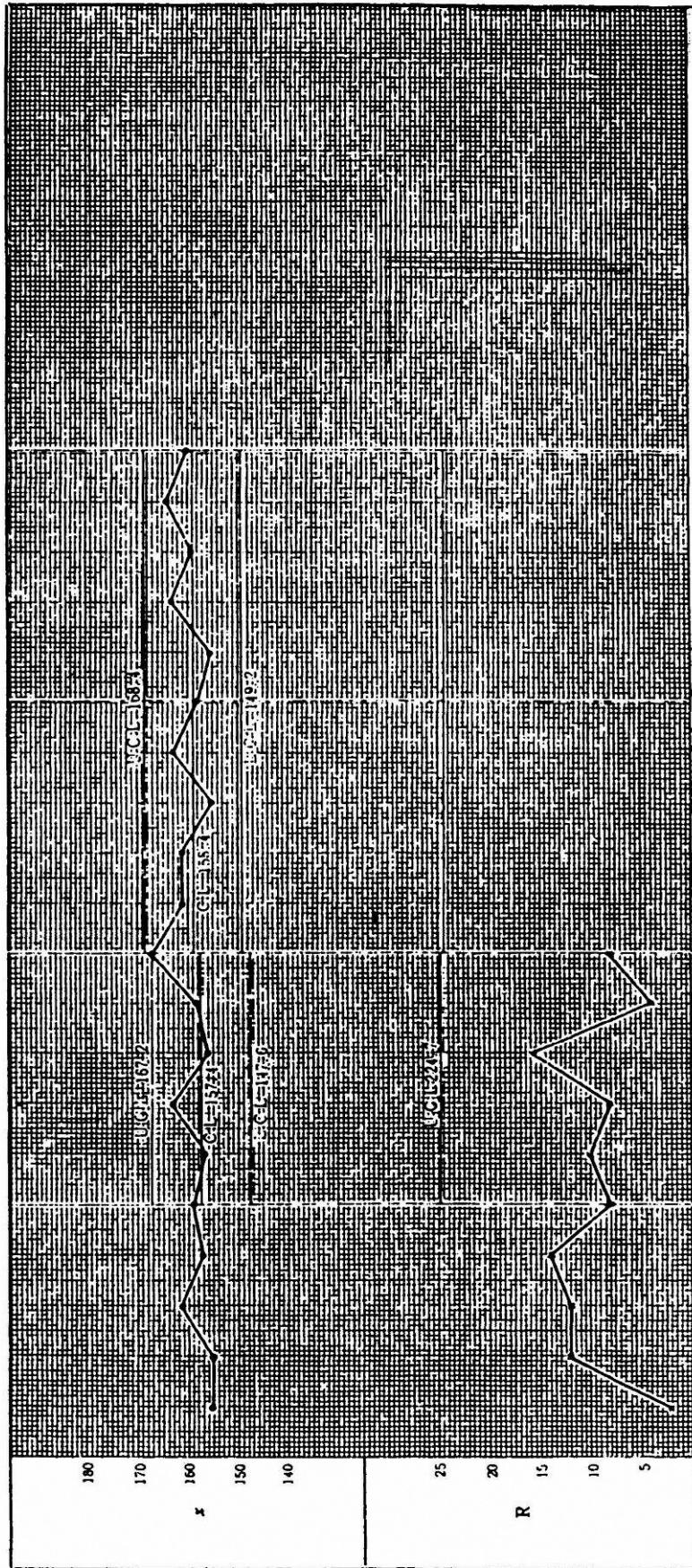
- 〔注〕 1. 品質特性，測定単位は，施工管理基準により記入する。
 2. 規格限界，設計基準値は施工管理基準，設計図書，仕様書に定められた値を記入する。
 3. 管理限界線の引き直しは 5 + 5 + 10 + 20 + 20方式による。

- 〔備考〕 一 管理限界線計算のためのデータの区間を示す。
 … 上記の管理限界を適用する区間を示す。
 4. 21組～40組までは別に新しいデータシートに記入する。以下20組ごとに同様とする。

一 X - R 管理図

主任	監督員	監督員
----	-----	-----

設計基準値	160°	工事名	○○道路舗装工事	事務所及出張所名	○○出張所
名称	トベカ	日標準作業量	146t/H	測定期間	自 年 月 日
品質特性	混合物温度	規格限界	180°	至 年 月 日	
測定単位	C	試料	1回1測定	測定者	
測定方法	日記装置	間隔	1日6回(1時間ごと)	現場代理人	④
作業機械名	40t/h全自動プラント			測定者名	④



組の番号	0	5	10	15	20
記事					

(注) 1. 管理図は、様式(9)のX-R管理図プラントから記入する。
 2. 記事欄には、異常原因、その発生事項を記入する。

骨材のフルイ分け試験(JISA1102)

試験月日

試料採取地名

主 任 監 督 員	監 督 員	監 督 員

製造者

(印)

測定者

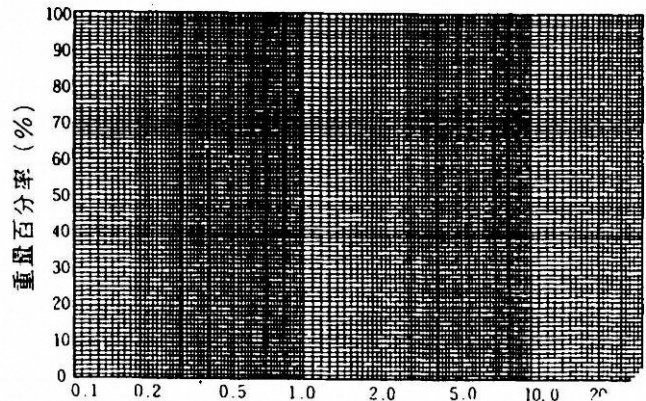
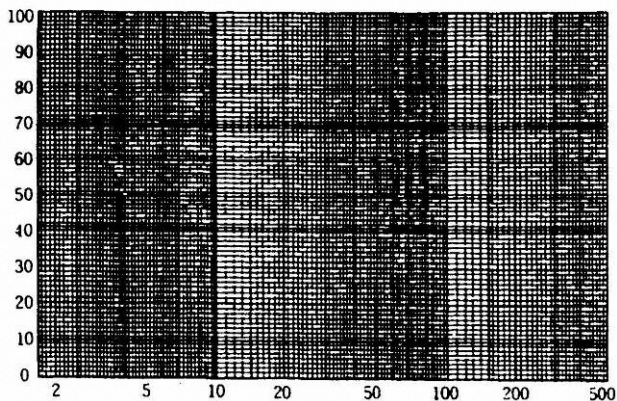
(印)

粗 骨 材				細 骨 材			
フルイ目 の 開 き (mm)	フルイ残留 重 (kg)	重量百分率 (%)	累 加 重 量 百 分 率 (%)	フルイ目 の 開 き (mm)	フルイ残留 重 (g)	重量百分率 (%)	累 加 重 量 百 分 率 (%)
150							
150 100							
100 80							
80 60							
60 50							
50 40				10			
40 30				10 5			
30 25				5 2.5			
25 20				2.5 1.2			
20 15				1.2 0.6			
15 10				0.6 0.3			
10 5				0.3 0.15			
5			100	0.15			100
合 計		100		合 計		100	

粒度曲線図

(粗骨材)

(細骨材)



様式-(6)

骨材の単位容積重量試験 (JISA1104)

主任 監督員	監督員	監督員

試料採取
地名 _____

製造者 _____ ㊟

測定者 _____ ㊟

測定 年月日	天候	容器+試料の 重さ (kg)	容器の重さ (kg)	試料の重さ (kg)	単位容積重量 = $\frac{\text{試料の重さ}}{\text{容器の容積}}$ (kg/m ³)
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重

(A 4判)

様式-(7)

細骨材の表面水量試験 (JISA 1111)

主 監督員	任 監督員	監督員	監督員

試料採取
地 名 _____

製造者 _____ 印

表面乾燥飽和状態の吸水量 $W =$ _____ %

測定者 _____ 印

測 定 年月日	天候	W_s (g)	V_1 (cc)	V_2 (cc)	V_s (g)	G_s	V_d	P (%)	P_w (%)	摘要

注. W_s : 試料の重量
 V_1 : 最初の水量
 V_2 : 試料と水との容積
 V_s : 試料でおきかえられた水量 = $(V_2) - (V_1)$
 G_s : 試料の比重
 $V_d : V_d = \frac{W_s}{G_s}$
 P : 表面乾燥飽水状態に対する試料の表面水の百分率 = $\frac{(V_s) - (V_d)}{(W_s) - (V_s)} \times 100\%$
 P_w : 表面乾燥飽水状態の吸水量 (W) と表面水 (P) との差 = $(W) - (P) \%$

細骨材の比重及び吸水量試験 (JISA1109)

主任 監督員	監督員	監督員

試料採取
地名 _____

製造者 _____ ㊟

測定者 _____ ㊟

判定 年月日	天候	A (g)	B (g)	C (g)	D (g)	比重= $\frac{(A)}{(D)}$	E (g)	F (g)	G (g)	吸水量= $\frac{(G)}{(F)}$ × 100(%)

注. A 表面乾燥飽和状態の試料重量 F 乾燥後の試料重量
 B 比重ビンの最初の水のよみ G 水の量(E)-(F)
 C 試料を加えた比重ビンのよみ
 D 比重ビンのよみの差(C)-(B)
 E 表面乾燥飽和状態の試料500g

様式-(9)

粗骨材の比重量及び吸水試験 (JISA1110)

主任 監督員	監督員	監督員

試料採取
地 名 _____

製造者 _____ ㊟

測定者 _____ ㊟

測定 年月日	天候	A (kg)	B (kg)	C (kg)	D (kg)	比重 = $\frac{(A)}{(A)-(D)}$	E (kg)	吸水量 = $\frac{(A)-(E)}{(F)} \times 100$

- 注. A 表面乾燥飽和状態の試料重量
 B 容器と試料の水中重量(A)+(C)
 C 容器の水中重量
 D 試料の水中重量
 E 乾燥後の試料重量

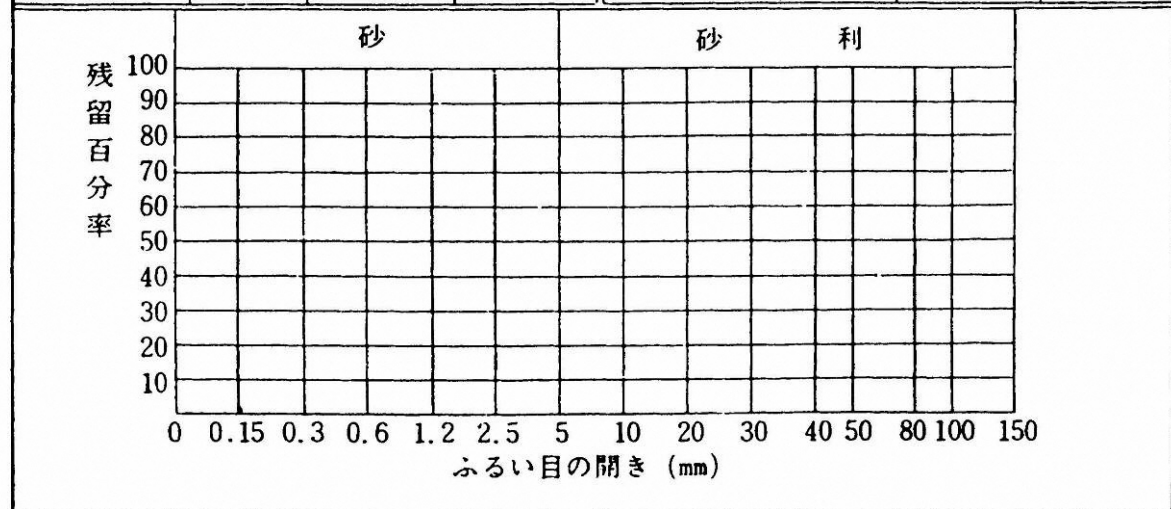
骨材試験成績一覧表

主 任 監督員	監督員	監督員

採取地 粗骨材
細骨材

製造者 _____ (印)
測定者 _____ (印)

ふるいの 目開	ふるい残留量		累加残留量		ふるいの 目開	ふるい残留量		累加残留量	
	重量	百分率	重量	百分率		重量	百分率	重量	百分率
mm	g	%	g	%	mm	kg	%	kg	%
5 mm 以上					150mm 以上				
5~2.5				※	150~100				
2.5~1.2				※	100~80				※
1.2~0.6				※	80~60				
0.6~0.3				※	60~50				
0.3~0.15				※	50~40				※
0.15以下					40~30				
合 計					30~25				
粗 粒 率					25~20				※
試験項目	単 位	細骨材	粗骨材		20~13				
比 重	-				13~5				※
標 準	単 重	kg/m ³			5 mm 以下				
	空 隙 率	%			合 計				
軽 装	単 重	kg/m ³			粗 骨 材				
	空 隙 率	%			試験項目	単 位	細骨材	粗骨材	
耐 久 性	%				有機不純物		合 否		
吸 水 性	%								
スリヘリ減量	%								



(A4判)

様式-(11)

主任監査員 監査員 監査員

コンクリート圧縮強度管理値 (σ_1) の決定資料

製造者 印

測定者 印

設計基準強度 (kg/cm ²)	所要スランブ (cm)	水セメント比 (%)	使用セメント名	σ_1		σ_{28}		摘要			
				相骨材最大寸法 (cm)	単位セメント量 (kg/m ³)	絶対細骨材率 (%)	混和剤		No.	試験月日	破壊荷重 (t)
180以上											
供試体 製作年月日											
計 Σ											
平均値 \bar{x}											

$$\text{圧縮強度管理値 } (\sigma_1) = \frac{\text{設計基準強度 (kg/cm}^2\text{)}}{\text{伸び率}}$$

$$= \frac{\sigma_{28} \text{ の } \bar{x}}{\sigma_1 \text{ の } \bar{x}}$$

主任 監督員	監督員	監督員

<u>コンクリート、圧縮強度試験表</u>							
製造者						(印)	
測定者						(印)	
ブロックの名称							
圧縮強度管理値(σ_c)		(kg/cm ²)		材 令		7 (日)	
製作年月日	試験年月日	No.	重 量 (kg)	破壊荷重 (t)	圧縮強さ (kg/cm ²)	スランプ (cm)	摘 要
		\bar{x}					
		\bar{x}					
		\bar{x}					
		\bar{x}					
		\bar{x}					
		\bar{x}					

主任 監督員	監督員	監督員

出来形管理表 (形状寸法、外観、重量)															
製造者 _____ 印															
測定者 _____ 印															
ブロックの名称 _____			年 月 日			測定年月日			年 月 日						
日生産個数 _____ 個			不良個数 _____ 個												
	No.	形 状 寸 法 規 格								重量管理値					
		面縦	mm	±	面横	mm	±	控	mm	±	合端	mm	±	kg	±
測定値	1														
	2														
	3														
	4														
	5														
	6														
	7														
	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	16														
	17														
	18														
	19														
	20														
計 Σ															
平均値 \bar{x}															
範囲 R															
備考															